

参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 1 - 43
要綱上の事業名称	(37) 震災・復興の記録の収集・整理・保存
細要素事業名	震災瓦礫を活用した記憶のまちモニュメント整備事業
全体事業費	7, 440, 000円

本市の中心市街地の一つであった「港町・閑上」は東日本大震災により壊滅的な被害を受け、現在、原位置にまちを再生すべく被災市街地復興土地区画整理事業に取り組んでいる。一般換地をはじめ災害公営住宅、防災集団移転先団地等が完成し徐々にではあるが住民が戻ってきている。

閑上は、製造業や観光など地域資源の豊富なまちとして発展してきたが、現在では、震災のシンボルになりつつある日和山以外、震災前からの風景に出会える空間がなくなっている。「貞山運河」「名取の松原」「名取川の風景」など、地区住民だれもがイメージする閑上の風景を震災瓦礫を活用してモニュメントとして製作し、地区住民が集う街区公園に設置し、震災の教訓やまちの記憶、復興の足跡を伝えていくことがコミュニティ活動の醸成に一助になるものと考えます。

本事業は、閑上市街地内に計画している街区公園 6 箇所を毎年 2 箇所ずつ 3 ヶ年計画で整備を行っていく計画であり、平成 30 年度の事業に係る事業費を措置するもの。

**【基幹事業との関連性】**  
本事業は、土地区画整理事業区域内の住民や来訪者が設置した街区公園を巡り、震災の教訓や復興の足跡を学ぶことで、まちの記憶伝承に取り組むものである。喪失した地域資源をモニュメントという形で設置し、学びの場としての価値を高めることで、閑上地区の交流人口拡大等、復興まちづくりの促進に寄与する。

**【事業年度】** 平成 29～31 年度

**【事業費】** 2, 520, 000円 (1, 260 千円×2 箇所)

**【モニュメントの内容】**  
サイズ 1. 62m<sup>2</sup> 1. 8m×0. 9m  
事業費 1 基あたり 1, 260 千円  
規格 閑上の震災瓦礫を活用し、閑上の震災前の風景を想起させる内容で製作し街区公園に設置する。

**【全体事業費】**

平成 29 年度	2, 400, 000円
平成 30 年度	2, 520, 000円
平成 31 年度	2, 520, 000円
計	7, 440, 000円

この様式は、原則として、参考様式第 2 9 及び参考様式第 3 2 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。